

第2061号

2023年6月4日

日本共産党根室市議団

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

新型コロナウイルス感染症

5類に移行されたけど…

新型コロナウイルス感染症が、感染症の分類上2類相当だったものを、5月8日から5類に移行されました。何がどのように変わったのでしょうか。

「2類相当」と「5類」の主な違いは？

日本における感染症は、法律に基づき、最も重い1類感染症から5類感染症の順に分類されています。

5月7日まで、新型コロナウイルスは「2類相当」に分類されていて、陽性者の外出制限や限られた医療機関で入院、治療が行われていました。8日以降、「5類」に移行されたことにより、季節性インフルエンザ等と同様の扱いとなり、感染者の把握は全数把握から定点把握へ、保健所による健康観察も終了されました。

コロナの感染力が変わったわけではない！

分類が「5類」になったからといって、新型コロナウイルスそのものが「軽い」病気になったわけではない。

各施設等から体温測定器やパーティションが撤去されました。また、コンサートの入場制限撤廃、スポーツの声出し応援解禁、さらにマスクの着用は個人の判断に委ねられました。なんとなく、コロナが収束したものと思われがちですが、こうした状況だからこそ、個人々の対策が重要だと思えます。市内でも、「5類」移行後に学級閉鎖が発生しています。十分気をつけましょう。

情報が入ってこない！

「2類相当」の時、市は「新型コロナウイルス感染症対策本部」会議を開き、感染者数などの情報を公開してきました。しかし、7日以降本部は解散され、それまでのような形での情報公開はなくなりました。情報が無いと、どうして

も不安になります。「ウワサ」に振り回されることなく、感染症対策をしっかりとしていくことが大切です。

市民の命と健康を守る施策の強化・拡充こそ！

日本共産党は先の統一地方選で次の政策を発表しました。今後もこの立場で、国や北海道、根室市に求めてまいります。

○新型コロナウイルスの検査・治療・予防接種の公費負担を継続し、発熱患者を検査・診察する外来体制の拡充、入院医療・救急搬送の体制強化、高齢者施設の入所者を感染・重症化から守る対策の抜本的強化をはかります。○保健所の新増設、正規・常勤職員の抜本増など体制強化をすすめます。○「コロナ後遺症」の治療・研究、患者への生活支援を行います。○希望する人への安全なワクチン接種をすすめるとともに、接種後に起こっている有害事象について、原因の徹底究明と幅広い補償・救済を求めます。

自転車に乗っています！

鈴木一彦

自身の健康づくりと、微々たるものですがCO2排出削減の思いも込めて、3月末に自転車を購入しました。市内には自転車専門店が無いので、ホームセンターで6段変速のクロスバイク（スポーツ車と「ママチャリ」の中間）を購入。ネットで買う手もありましたが、防犯登録やメンテナンスのことも考え、市内で直接買いました。4月から努力義務となったヘルメットの在庫が無く、今後の納品も未定とのことだったので、それだけはネットで買いました。

自転車で乗っていると、車では気づかないことも見えてきます。例えば道路。自転車は軽車両なので、車道を走らなければなりません。基本的には路側帯を走ります。ところが、一部の路側帯は舗装ががたがたで、自転車でのスムーズな走行が困難です。また、排水溝の蓋（？）も、最近は網の目の細かいものもあります。ほとんどは幅広で、タイヤの細い自転車には危険です。

いま、私が走っているコースは、自宅から国道に出て「釧路トヨタ」を左折。月見町から自転車道路に入り栄町に出ます。そして旧啓雲中現花咲小の横の道路を北浜町に向かって走ります。この道路は路側帯が広く、交通量も国道に比べて少ないので大変走りやすい。北浜町のグループホームを左折し、いわゆる旧国道を道なりにひたすら走ります。国道に出たら「しまむら」を左折し自宅に戻ります。約11キロ少々、ゆっくり走って45分くらい。じわっと汗をかいて、多少の疲労感が心地よいです。

車を運転される皆さん、自転車には優しくしてね。